

令和2年度第2回 令和3年度第1回

学校関係者評価委員会 議事録

1 開催日時 令和3年8月2日(月) 13:00~14:30

2 開催場所 にいがた製菓・調理専門学校えぷろん

3 出席者

古川 雅英 (新潟県菓子工業組合 事務局長)

三島 茂 (新潟県司厨士協会 名誉会長)

神子島 真 (株式会社神子島製作所 取締役製造部長)

山岸 貴 (中央会計税理士法人 代表社員 所長)

渡辺 建太 (株式会社 渡森 代表取締役社長)

伊藤 佑二 (御料理 京相模)

以上 6名

4 会議の内容

ア 理事長あいさつ

イ 令和2年度第2回学校関係者評価委員会

ウ 令和3年度第1回学校関係者評価委員会

エ 質疑応答

オ 閉会の挨拶

令和2年度第2回学校関係者評価委員会

令和2年度の報告

(学園長) 令和2年は3月からコロナの影響が出て学園祭も中止。令和2年度は入学式もオンライン、授業もオンライン授業を初めて実施。6月には通常授業に戻ることができた。8月は通常の夏休みを削り不足分の授業を対面で行った。オンライン授業を経験し学生は集中力が身についたように思う。また目を見て対面で授業できること、仲間と話することができる事を大変喜んでおり先生方に感謝する学生もいた。先生方がコロナに負けずに様々なアイデアを出し実行してくれている。学生もその事に感謝しているという事が大きな収穫である。

令和3年度第1回学校関係者評価委員会

委員自己紹介

学校関係者自己紹介

委員長 渡辺 建太

副委員長 神子島 真

令和3年度活動報告

(近藤) 質の高い教育を行う事が専門学校には大切であり、引き続き実践的な職業教育を組織的に取り組んでいきたい。学生確保の厳しさが増しているが学生の授業に対する満足度を高めていく事が大切である。また広報の体制を整えて職員一丸となって取り組んでいきたい。社会的使命としてより実践的な教育を行い良い人材を育てる事が大事である。計画的に職員研修を行い職員により専門性を深めてもらいたい。持続可能な開発目標として講習会や出前授業で地域貢献にも取り組んでいきたい。

令和2年度 アンケート結果

(渡辺) 令和2年度末 前期後期と2回グーグルのフォームで行っている。前期のアンケートの結果を踏まえて後期の内容を改善している。4段階評価。全体的に前期よりも後期はアップしている。低下しているのはオンライン授業。学ぶ意欲の向上がみられる。高い項目では授業の担当教員の熱意を感じられた所。授業全体の評価も高い。学生は座学よりも実習授業に熱心に取り組んでいるという結果がみられる。家庭での勉強はほとんどしていない様子である。

学校評価自己評価

(出塚) 今年度は開校30周年である。業界の要望、ニーズをこの委員会で聞き取り、実現に組んでいる。情報システムの効率化が課題なので職員の研修会を行う定期的に行う予定。今後一人一台端末を持って情報を共有できるようにする。退学者を出さないという目標を持ち学生へ対応しており、昨年も退学者は0人だった。就学支援認定校となっている。今年度15名が利用している。学生の環境支援として女子の生理用品の配布。卒業生の支援体制として同窓会の立ち上げを今年度行う予定。新潟中央警察署から大麻、SNSの注意点の講習会を実施。コロナの影響で研修旅行ができていない。就職活動で県外から戻った学生は抗原検査を行う予定。財務内容は理事会、会計監査から適切と言われている。

学校評価の実施 評価依頼

質疑応答

(三島) コロナについてはあらゆる分野が影響を受けている。過去を振り返るとこのような

事はなかった。教養と健康に関係している企業は潰れない。 空気と水を資源にしている業種は最後まで生き残るとセミナーで聞いている。専門学校は教養と健康にマッチしている。APAホテルが新潟で大きなホテルを建設している。完成し営業を始めたら周りのホテルの多くは廃業するだろう。その前に新たな経営戦略を立てる必要が新潟のホテル業界にはある。

(古川)アフターコロナでも冠婚葬祭関係の売上の比重が大きい店は低迷すると考えられる引きでもがでない、家族葬が多い お通夜のおとぎがない等がその原因。一般のケーキ店は一部のお店が昨年売上をのばしていた。全体としてもコロナの影響はあまりなかったようだ。

(山岸)食の関係は専門外だが、経験、技術を学生に伝授していく事は大変大事。若い人の感性は予想できない物をもっている。若い人の感性、考えを尊重する事も大事。自分の会社でも若い人に仕事を任せると以外にうまくいった。

(伊藤)学生運営のレストランはやりがいを感じられて大変良い。いい勉強になる。外食産業の労働環境は多少の改善もみられるが、旧態依然に労働時間が長い、休みが少ないのが現状であり、就職後に長く働いていくには、やりがいを感じながら働く事が大事だと思う。

(神子島)金属関係の製造業は最近仕事が減っており、従業員は不安を感じている人もいる。学生の親も収入が減っている家庭があるかもしれない。教育の中でお金の使い方を教えていく必要がある。最低賃金が上昇すると物価が上がる。最近材料のステンレスの値段が上がっており製品の値段も上がる予定。学校としても今後必要であるものは計画をたててある程度購入した方が良い。

(渡辺委員長)コロナの中でも学校運営が上手く行っていると感じている。重点目標である学生の満足度を一番に考えるというのは大事な事である。食育活動で学生と交流している中で 学びを感じながら作業する事で満足度を上がっていると思う。どういう点が学生の満足度と結びついているか今一度検討する事が大切だと考える。大雨による水害、地震、熱中症など防災に対する体制作りをもう少し考えていただきたい。

(近藤)いろいろな意見を聞いて取り入れる事で労働環境を改善でき、労働時間の短縮、作業の効率化につながる可能性がある。学校の組織においても同じことが言える。組織力をアップしたり、個々の能力を伸ばす環境を考えていきたい。

閉会挨拶